



## さあ、安倍政権退陣を。大垣から政治を変える。

2019年は「勝負の年」。4月の統一地方選挙に続き、7月参議院選挙で「市民と野党の共同」で自公と補完勢力の過半数割れを実現させなければなりません。日本共産党は、先日6月17日に岐阜市内で行われた演説会でその激動の政治戦をたたかう予定候補者を発表。大垣市では現職の笹田トヨ子市議を県議選に擁立し、現在中川ゆう子県議の1議席からの議席増に挑戦。大垣市議選では現職の中田としや市議に加え、新人のはんざわ多美氏を擁立。引き続いての複数議席獲得に挑みます。今号の「民主おおがき」では、そんな3人に暮らし・福祉を守るために全力を尽くす思いを語っていただきました。

### 今度は県議複数議席に挑戦！ 笹田トヨ子

はじめて市議となって取り組んだのが荒崎水害。ようやく差別的治水対策が解消される見通しがついてきました。しかし、今までにない集中豪雨や猛暑といった地球温暖化に伴う課題はもっと増えそうです。あの集中豪雨の最中に飲み会を行っていた安倍政権、国民の苦しみに見向きせず、軍事増強、カジノ、「働き方改革」とますます貧困・格差社会をつくる政治に突進。地方自治体は安倍政権の害悪の防波堤になるよう住民密着の政治が求められます。私は、市議のバトンの中田・はんざわ両氏にしっかり渡し、今度は県議に挑戦します。 **プロフィール：大垣市議会議員4期 1950年生**



### 共同の広がりを更に進める1年に。 中田としや

皆様のご支援により、当選させていただいて3年。市民の皆さんの声を議会で届けてきましたが、実現できないことも多く、力不足を実感します。しかし、日本共産党会派に所属し、笹田トヨ子市議はもとより他会派の市議とも協力し、市政改革の一翼を担って努力を重ねてきました。19年統一地方選では、必ず再選を勝ち取り、議会内外の共同を広げ、市民の皆さんの安らかな生活を守る市政改革をといっそう推進する決意です。

**プロフィール：大垣市議会議員1期 1986年生**



### 誰もが安心してらせる大垣市へ。 はんざわ多美

子どもも子育て世代の親も、シングルですごす人たちも、介護する世代もされる世代も、誰もが安心して暮らしたい。そうした思いを公的に支えるためには制度や政策が必要です。今、少子高齢化という人口問題を背景に、社会保障の縮減をいかにするかという課題が国から自治体に提起されていますが、地域住民に寄り添い、医療や介護、子育てや福祉の問題にきめ細かく対応するのが自治体の政策の腕の見せどころです。笹田議員の後を継ぎ、大垣市議会での役割を果たす決意で頑張ります。 **プロフィール：党福祉対策委員長 社会福祉士 1970年生**

# 記録的な豪雨と酷暑。 市民の命とくらしを守る政治を。

西日本豪雨災害にあわれたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。

緊急  
提言

## 子どもたちの命最優先。急ぎエアコンの設置を。

3連休明けの17日、豊田市の小学1年の男子児童が熱中症で死亡する事故が発生。少なくない市民の方から「なぜ大垣は小学校にエアコンがないのだ」と意見が相次ぎ、共産党と市民ネットワークで小川市長と教育委員会に対して「エアコン設置と猛暑日は屋外での活動を避けるなど緊急避難措置」を求める緊急要望を行いました。大垣市はエアコンより洋式トイレの設置を優先させてきました。しかしこの酷暑に至っては、命にかかわるエアコンの設置を最優先で行うべきです。



▲ 教育委員会にて申し入れを行う共産党中田市議、笹田市議

### 提言 重すぎるランドセル、改善を！

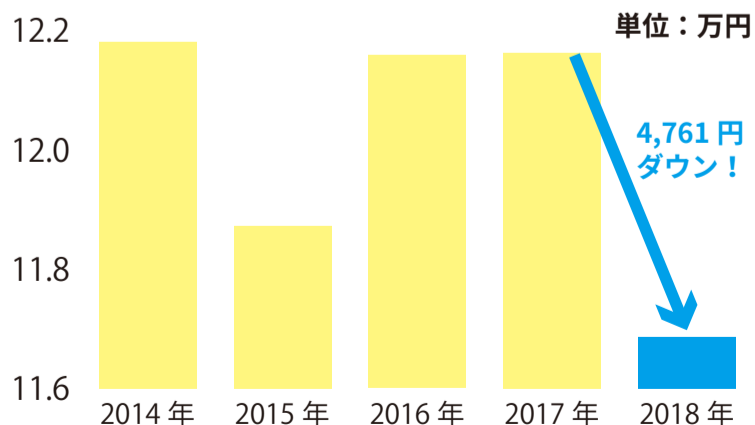


昔に比べて、子どもたちのランドセルが重く、学校によっては「置き勉」といって教科書を学校に置いて帰るところも増えています。大垣の場合、どうでしょうか？有志のお母さんたちが4日間で延べ人数23人の子どものランドセルの重さを測定。一番重かったのが6年生6.3kgでした。教育委員会に尋ねると、「子どもたちの状況が違うので、「置き勉」についてはそれぞれの学校で判断し対応している」とのことでした。

### 実現 国保料引き下げ一人あたり4,761円



「20億円を超える繰越金を活用して国保料の引き下げを」この間、議会でも取り上げてきた国保料の引き下げが実現しました。しかし直近の決算見込みでは、26億円を繰越す見込みです。引き続き、払える国保、受けれる医療を目指します。



グラフ：大垣市の国民健康保険料の一人あたり平均（年）の推移。  
「大垣市国民健康保険運営協議会の大垣市国民健康保険料率」より作成。

### 報告 非核化への祈りを乗せて歩く



歴史的な米朝のトップ会談が実現し、朝鮮半島の「非核化」実現に向けて歩み始めました。昨年7月7日国連にて「核兵器禁止条約」が採択され、核兵器廃絶に向けて世界は動き出しました。私たちも核廃絶のため頑張ります。



▲ 毎年続けられている平和行進。家族3人で歩きました。（はんざわ多美）

### 報告 土壌汚染問題で申し入れ



4月、土壌汚染問題について、岐阜県と日本合成(株)に対し地下水の安全性や住民が納得できるまで話し合うリスクコミュニケーションなど要望しました。大垣市は戦前から工業都市として発展したまちで、土壌の中がまだまだ不明なところがあります。土壌汚染対策法をより充実させるため、国に対しても要望していきます。



▲ 県庁にて中川ゆう子県議と申し入れを行う笹田市議、中田市議